

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・春物のスタートはまずまずで、特に新入学のランチ類（弁当箱等）、ステーションナリー類（ノート、レターセット等）などの動きなどが良い。1人当たりの買上点数、販売量も増えており、今後の明るい兆しではないかと考えている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・毎年4、5月は、かなり売上が上昇する時期であり、例年並みの期待は持てない気もするが、多少は期待感がある。
		コンビニ（店長）	・競合店との競争は激化しているが、来客数はほぼ一定しており、客単価も例年並みに戻ってきたことから、若干の売上増が期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・3月からは愛知万博が始まるので、家族、グループ旅行などに期待できる。海外旅行も4月からの新パンフレットがそろったので回復が見込める。
		通信会社（営業担当）	・今後も新店舗展開を予定しており、販売数は増加する。
		ゴルフ場（従業員）	・季節的に入場者が伸びてくる時期であり、実際に2、3か月先の予約がある程度入っている。
	住宅販売会社（従業員）	・今後、受注につながりそうな物件が増えてきている。	
変わらない	変わらない	スーパー（店長）	・時期的には入学、新生活者に向けた、消費が上昇する時期だが、必要な物以外買わない傾向が続いており、景気は変わらない。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・当分、客数の減少が止まりそうにない。
		衣料品専門店（経営者）	・卒業やリクルート関連のスーツなどで多少動きが出てきたが、全体的に力強さを感じられない。単価の高いスプリングコートの動きも悪く、春物商戦には多くの期待が持てない。
		スーパー（財務担当）	・来客数は着実に増えているが、客単価は前年割れが続いている。回復要素が見つからず、打つ手に苦戦している。
		家電量販店（店長）	・商品単価の下落が今後も見込まれ、需要は横ばいと思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・春の需要期に入ったが、ユーザーの動きは鈍っている。年々、若葉需要が減少していることと、新型効果が長続きしないことから判断すると良くなっていくとは思えない。
		設計事務所（所長）	・家賃を下げないとテナントが入らなくなってきた。
やや悪くなる	やや悪くなる	スーパー（店長）	・売上は過去3か月よりも更に悪くなっており、現状も割引商品等で単価の安い物しか売れていない。今後もさらに悪化していくと思われる。
		通信会社（企画担当）	・卒業、入学シーズンが終わり、消費者の購買意欲が一段落する。
		観光型旅館（経営者）	・愛知万博に注目が集まり、3月から当分の間は四国への観光客は減少することが予想される。
悪くなる	悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・来客数が減少している。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・ギフト関係を中心に回復していることに加え、新商品の認知が少しずつ上がっているため、3月以降は上向いていくと思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・既存客以外に、中国で生産していたローテク商品の国内回帰に伴い、ボルト、ナット、ビニールの買物袋の生産設備更新に対する問い合わせ、受注が増えてきている。そういったことから、やや良くなる。
	通信業（営業担当）	・IT化、情報化の設備投資について提案しているが、前向きに検討され、案件が受注につながるが多くなってきた。	
変わらない	変わらない	化学工業（営業所長）	・3月の製品受注状況は悪く、当面悪いままで進展しそうである。原油価格の動向が今後の懸念材料である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・東海地域を中心に、当面、受注は堅調に推移する。また国の審議会ですまとめられた2009年以降のディーゼル車の排ガス規制（粒子状物質ゼロ）の動きなども、買換えへ好影響を与えると期待している。

	輸送業（支店長）	・年度末で取引先営業所が複数閉鎖するため、売上減となるが、現在引き合い中の案件を数件契約できれば、その分をカバーできる。
	通信業（支店長）	・今後は、強力な新商品の販売はないが、現在の商品にかなりの商品力があるので、今の販売状況は維持できる。
	広告代理店（経営者）	・来期広告予算も減額傾向のクライアントが多く、店舗の新規オープンも少ないことから、広告ボリュームは小さくなっていく。
	公認会計士	・取引先企業の社長と話をする、3か月以降の景気について明るい見通しを持っている社長は1人もいない状況であり、大変厳しい見方をしている。
やや悪くなる	食料品製造業（従業員）	・今は新商品の導入時期で数量が伸びているが、その部分がはがれ、現状よりは悪くなる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・3月末までは、中部地方における大型クレーンの稼働率は高い見通しであるが、その後は中部国際空港、愛知万博、高速道路関連工事がほぼ終わり、全体的に仕事量が落ち着いてくる。小型クレーンもトラック需要の前年割れが続く見通しであり、回復は期待できない。
	不動産業（経営者）	・今年に入り、客の動きが非常に悪くなってきている。さらに、春の繁忙期にかけて、賃貸希望の客も例年に比べやや出足が遅く、希望家賃も低くなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・円高基調は相変わらずであり、素材関係の高値も続いており、景気が良くなる材料が見当たらない。
	悪くなる	-
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	人材派遣会社（支店長） 職業安定所（職員）
		・例年とほぼ同じぐらいで、件数、及び求職者も推移していく。 ・新規求職者数は前年比で減少に転じたが、有効求職者は依然高止まりで推移している。若年者の内、女性は希望職種が固まっている人が多いが、男性は自分の希望職種が絞りきれない人が多くみられる。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・転職市場の20%が、4月1日までに入社し直すことをかんがみると、2、3月で受注が一段落して、4、5月は低迷期に入る。
	職業安定所（職員）	・求職者が労働条件を下げ、求職に応募するようになってきた。
	悪くなる	